



● 森林整備事業の完了現場をドローンで空撮（畑郷地内）

発行＝日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel＝0771-72-0017 Fax＝0771-72-1375
E-mail＝h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2020年10月発行



組合長理事の業務代理について

組合員の皆様には、日頃より組合の業務運営に際しまして、ご理解とご協力をいただいていることに対し、組合長として深く感謝申し上げます。

この度、皆様に報告申し上げなければいけないことがあります。今夏に受けた定期健診の結果から、長期療養が必要だという主治医の見解が出されました。今すぐ入院が必要な状態ではありませんが、通院治療と自宅療養が必要であり、このままだと今後の組合業務運営に支障をきたすことは明白です。

そこで、定款第35条の定めにより代表理事組合長の職務の一部を、理事副組合長の湯浅勲氏に代理させることといたしました。

コロナ禍という困難な状況の中、このような事態になってしまい、本当に申し訳ございません。今年度も残り半年を切りましたが、引き続き役員職員が一丸となり、この難局を乗り越えて参ります。

組合員の皆様には何かとご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご理解を賜り今後ともよろしくお願いいたします。代表理事組合長 宇野 齊

宇野代表理事組合長から7月中旬に上記の報告をいただき、本当に突然の事での頭の整理がつかない状況です。しかし、まずは健康が大切ですので、治療に専念いただき、少しでも早く復帰されることが第一かと思えます。

上記の通り、定款第35条第4項に「副組合長は組合長を補佐して・・・(中略)・・・組合長に事故あるときはその職務を代理し・・・(以下略)」とありますので、組合の日常業務運営につきまして、今年の8月より代表理事組合長の代理をさせていただいています。

但し、外部団体の監事など対外的な業務や理事会などの重要案件につきましては、これまで通り宇野代表理事組合長に行っていたいただいています。

コロナ禍の中、突然このような状況になり、今後ともその職務を果たせるかどうか、甚だ浅学非才ゆえ不安ではあります。組合員の皆様のご協力を頂き、ご迷惑が掛からぬよう精一杯努力いたします。至らぬ点も多々あるかと思えますが、暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事組合長代理

理事副組合長 湯浅 勲

木材価格動向について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7月以降大手合板会社が、スギの原木価格を一気に1,500円/m³の値下げを実施しました。さらに4月以降実施していた合板の減産率を20%から30%へと引き上げました。

また別の製材工場でも、緊急事態宣言発出以降、営業時間を通常の17時までのところを15時までに短縮し、生産調整を続けています。

それに対して9月以降イベントの参加人数の緩和や、ゴートウーキャンペーンの実施などで、各地で経済活動が再開しておりますが、今なおコロナウイルスの脅威は続いております。

10月以降は、例年木材価格が良くなる時期であり、日刊木材新聞でも若干値上がり傾向にあるとの記事が出ておりましたし、大手合板会社も9月以降価格を少しづつ戻してはきています。しかし、コロナ騒動以前の価格に戻ったわけではなく、依然として価格が低迷していることに変わりありません。

海外では感染拡大に歯止めが効かない国や、感染拡大が再燃している国もある

ようです。日本においても、いつ急拡大するかもしれない状況にあることに違いないと思います。

このような状況のなか、今後の動向を予測することは非常に難しいですが、現時点では、再び木材価格が下落した時のことを考え、早め早めに出来る手を打っていくことが大事だと思います。

林業・木材業界にとっても厳しい状況が続きますが、この状況に対し常日頃の業務を見直し、コストを削減するチャンスと捉え、組合員の皆様により良いサービスのできる組合となれるよう、職員全員で改善を行っていききたいと思えます。

(小林)

南丹市へ協力要請

コロナ禍で木材価格の急激な値下がりや、製材工場の減産など、森林・林業界にとってマイナスとなる事象が次々と起こっており、これらは最終的には森林所有者である組合員の皆様の利益を阻害する要因ばかりです。

日吉町森林組合では、木材価格低下の影響を少しでも軽減するため、森林施業のコスト削減を行い、見積り単価を下げるなどの手立てを行っております。

しかし、組合の努力だけではどうすることもできない程の値下がりとなってしまっているのも事実です。

そこで、南丹市内4町の森林組合組合長が南丹市長へ『コロナ禍における〇〇支援』を提出し、南丹市へも協力を要請しました。西村市長も、森林は市の重要な資源であり、産業においても観光においても重要なものであるとご理解いただき、早速に、木材の搬出についてご支援いただけることになりました。

また、木材の搬出支援だけではなく、民家周辺などの生活圏における危険木伐採処理に対する支援などについても、強い要望を出しております。

異常気象が異常ではなくなる

2008年に、『ゲリラ豪雨』という言葉が新語・流行語大賞トップ10に選ばれるほど頻発し、その後超大型台風や梅雨末期の集中豪雨などが多発し、『警報』の遥か上のレベルを示す『特別警報』の運用が2013年8月30日に開始されました。

そして、その年の9月16日に大雨特別警報が京都・滋賀・福井に初めて発表

されました。その後幾度となく発表され、その度に『50年に一度』や『数十年に一度』と言われておりますが、そういう表現ももう使われなくなるだろうなと思うほど、毎年日本のどこかで大災害が発生している気がします。今年も7月始めに九州と東海で大規模な豪雨被害が発生してしまいました。

さらには7月の台風発生数がゼロという、気象庁の観測史上初めてのことが起きました。

ところが8月に入ると一転、立て続けに台風が発生し、そのうち9号・10号はいずれも九州・沖縄地方を襲い、10号に至っては過去最大級の超大型台風とまで言われておりました。

これからは過去に経験した『異常気象』は異常とは言わず、さらに大規模な気象災害を異常気象と呼ぶことになることも懸念されます。

こうなると、これまでの大丈夫という感覚が通用せず、さらに上の意識を持って常日頃から行動する必要があるのは必ずです。

皆様にも、『今まで大きな台風で倒れてないんだから、この木はこれから大丈夫だろう』という意識は、是非とも変

えていただきたいと思えます。そうしなければ、いつ大災害に繋がるかも分かりません。

台風シーズン真っ只中ではありませんが、超大型台風が来ないことを祈りながら、ご自宅の裏などの木に少しでも不安がありましたら、早めの対応をお勧めいたします。何かありましたら森林組合へ気軽にご相談下さい。

(小林)



(神社境内のクスノキ巨木伐採)

秋のお客様感謝祭開催!

今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、森の道具屋『お客様感謝祭』を通常の土曜日・日曜日開催ではなく、お客様の3密を回避するため、月曜日・土曜日までの1週間にわたって実施しております。

この秋につきましては、11月9日〜14日までの6日間で開催する予定です。定番のチェーンソーや草刈り機から、ヘッジトリマーやブロワーなど多種多様な商品を取り揃える予定です。また恒例のワンコイン修理も実施しますので、是非お越しください。

皆様のご来店を職員一同心よりお待ちしております。

(出野)



果樹苗の注文はお済みでしょうか

秋植え果樹苗のご注文はお済みでしょうか。9月下旬にご案内しておりました、果樹苗のお申込み期日が10月31日となっておりまます。まだお済みでない方は遅れずにお申込みください。

柿・栗・桃・ブドウ・イチジク・柑橘類など色々取り揃えております。また、今年には栗の新品種として『美玖里』という品種が出ました。実が大ぶりで甘くて美味しいと評判の品種です。この機会に是非お試し下さい。



シイタケ菌・原木販売します

毎年大変ご好評いただいております、シイタケ菌及びシイタケ原木の販売を今年も実施します。

ここ数年事前予約でもかなりのご注文をいただいております、菌も原木も早々に完売している状況がつづいております。

シイタケ菌は12月から、シイタケ原木は来年1月以降の販売になりますが、予約は随時受け付けております。

『住宅街でもシイタケって育てられるの?』というお客様でも大丈夫、組合職員も住宅地にある自宅のちよっとしたスペースで育てています。

今年もシイタケ菌及び原木のご注文お待ちしております。

(出野)



新人の紹介

今年の4月から新人2名が加わりましたので、皆様に紹介させていただきます。まず一人目は『近藤慎太郎』です。購買を担当しています。



二人目は『萩森薫』です。会計を担当しています。



二人とも20代前半と若く、組合にフレッシュな良い風を吹き込んでくれるこ

とを期待しています。皆様には、何かとご迷惑をお掛けするかもしれませんが、暖かく見守り、ご指導をいただきますようお願いいたします。

山林移動届けの提出について

左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

- 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更された方
- 名義人が亡くなられたので相続をされた方
- 売買・贈与などで山の面積が増えたりあるいは減ったりした方
- 引っ越し等により住所が変わった方
- 共有林などの代表者や会計責任者が変更になった方

当組合では組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたら忘れないようにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(出野)

(資料提供・北桑木材センター R2, 9, 26)

スギ	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	¥ 8, 000 ~ 11, 000	
	"	4 m × 2 4 ~ 3 0 c m	¥ 12, 000 ~ 14, 000	
	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	¥ 10, 000 ~ 13, 000	
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	¥ 13, 000 ~ 15, 000	
元木	良材	4 m × 2 4 c m 上	¥ 30, 000 ~ 40, 000	
ヒノキ	柱	3 m × 1 6 ~ 2 0 c m	¥ 11, 000 ~ 13, 000	
	"	6 m × 1 6 ~ 2 0 c m	¥ 18, 000 ~ 20, 000	
	中目	4 m × 1 8 ~ 2 4 c m	¥ 12, 500 ~ 14, 000	※左記の金額は1
	土台	4 m × 1 4 ~ 1 6 c m	¥ 9, 000 ~ 11, 000	立法メートル当たりの
元木	良材	4 m、6 m 共	¥ 80, 000 ~ 100, 000	金額です。

佐賀県で住宅侵入による窃盗被害が多発していることをご存知でしょうか。佐賀県警が8月末までに把握した住宅侵入窃盗127件のうち、75%以上が無施錠が原因による被害だということです。これは、全国平均の50%を大きく上回っているそうです。

この記事を読んでいて、ふと思い出したのが、田舎の方は施錠をする習慣があまりないということ。何故そのようなことを言うのかというと、組合で働いていた元同僚が、家の鍵なんか生まれてこの方掛けたことがないと言っていましたし、今いる職員も「家の鍵なんか掛けた事ないわ。常におばあちゃんが居るしなあ」と言っていたのです。

また、お客様の所に伺った際に、インターホンを鳴らしても返答がない時は、玄関を開けて声掛けをさせてもらうのですが、鍵が開いているのにご自宅にいらっしやらないことがあります。近くの畑におられたり、庭いじりをされていたりする人が多いのですが、時には近くにいらっしやらないこともあります。組合に入った当時は、鍵を掛けておら

れないことに違和感を感じましたが、最近では慣れてしまいむしろそれが当たり前のような感覚になっていきます。

ただ、佐賀県のような記事を読むと、この辺りも怖いなあと感じますし、もっと怖いのが住宅に人が居ているのにも関わらず、施錠がされていないドアなどから忍び込み窃盗をする者が居るといいうことです。もし、何かの拍子にバツタリなんてことになる、相手は捕まる訳にはいきませんからかなり危険な状況になります。

実際、私の実家も一度空き巣に入られたことがあり、母親が帰宅した際に中に居た犯人が飛び出して行くのを見ています。その時は恐怖から他の者が帰ってくるまで一歩も動けなかったみたいですが・・・。

こちら辺は大丈夫やろという意識ではなく、皆様には万が一という意識を常に持ち、大切な財産をお守りいただきたいと思えます。くれぐれもご用心を——。

(小林)

